

第7回南区自治協議会 会議概要

日 時 平成27年10月28日(水) 午後2時～午後2時50分

会 場 新潟市南区役所4階 講堂

- 次 第
- 1 開会
 - 2 議事
(1) 平成28年度特色ある区づくり予算について
 - 3 報告・連絡事項
(1) 議会報告会について
(2) 部会報告
(3) その他
 - 4 次回全体会の日程について
 - 5 閉会

事前配布資料

資料1-1 平成28年度特色ある区づくり予算(区役所企画事業)委員提案検討結果

当日配付資料

会議次第

資料1-2 平成28年度特色ある区づくり予算(案)

資料2 部会報告

出席者 小杉由美子委員, 丸山幸一委員, 田村義三郎委員, 青木智子委員, 小林 誠委員, 木村 功委員, 小林公子委員, 棚村真寿美委員, 小林 孝委員, 種村幸夫委員, 西村 徹委員, 片野秀雄委員, 知野美智子委員, 佐々木彰治委員, 市嶋洋介委員, 丸山新吉委員, 野澤敏子委員, 小林敬子委員, 原 五郎委員, 大那 孝委員, 渡辺悦子委員, 田中容子委員, 大橋章子委員, 高橋文子委員 以上26名
(欠席: 田村義三郎委員, 原 正行委員, 本間智美委員, 高橋文子委員)

事務局 渡辺区長, 小松副区長, 永井地域課長, 堀総務課長補佐, 高橋地域課長補佐, 新井田地域課地域振興担当係長, 伊藤同企画担当係長, 大塚同主査, 蝦名同主査, 松元同主事, 山際主事

関係課 高橋区民生活課長, 高橋健康福祉課長, 野内産業振興課長, 木村建設課長, 牛腸味方出張所長, 宮本月潟出張所長, 畠山南区農業委員会事務局長, 江口南区教育支援センター所長, 吉田白根地区公民館長,

報 道 1名(新潟日報社)

傍聴者 2名

(午後2時)

1 開会

○事務局(高橋地域課長補佐) (配付資料の確認)

○議長(棚村会長) この土日, 大通地区でも秋まつり, いわゆる文化祭が行われたが, 各地区, 秋の文化祭シーズンということで, 先日の区だよりもいろいろと出ていたが, 高齢化が進む中で, 文化祭にかかわる方々の年齢層が上がっていく中で, どう地域住民の多くを巻き込

み、若い方々も巻き込み運営し、あるいは若い方々に集まっていたりするような文化祭にしていくのかということを通地区は一生懸命考えてきたが、皆さんの地域でも、そういうところはとても頭を悩ませているところではないかと思っている。何をやるにも地域住民が一丸となり、何かに向かってがんばる姿勢というのは、何かあったときの例えば、防災についても、そういうところで力が発揮されていくのかと思っているので、非常に大事なことだとは思っている。そういうところで、地域の中でいろいろ皆さん、大変だと思うが、この秋、またがんばっていただきたいと思う。

欠席者の報告

傍聴者の報告（所定の手続きを経て、傍聴していることを報告）

2 議事

（1）平成28年度特色ある区づくり予算について

○議長（棚村会長） 次第2（1）平成28年度特色ある区づくり予算について、地域課から説明をお願いする。

○永井地域課長 平成28年度の南区の区づくり予算について説明させていただく。

まず、皆様のほうで区役所の企画事業に対する委員提案ということでお出しいただいたものを各部会でも検討し、ご意見をちょうだいしてきた。それを一覧にまとめたものが資料1-1で、事前にお配りしている。

この中で、九つ、皆様からこういう予算を組んではどうかということで提案いただいた。皆様からの趣旨等もお聞きしながら、私どもとして、こういう方向感があるとか、こういうことがもうすでにやられているということもご説明しながら、部会でご意見をちょうだいし、最終的にはこの資料の形で部会にお示しした中で、こういうところだろうという返事をいただいたと考えている。ただ、全体で九つあるが、そのうち来年度の区づくり予算でそのままということにはならないが、ご趣旨等を私どものほうで組み替えさせていただくこともあるが、私どものやる区づくり事業の中にエッセンスとして取り組ませていただくというものが四つある。それが3番の『南区ふれあい福祉マップ』作成事業、4番の「アグリパーク都市小中学生教育ファーム交流事業」、6番目の「未来創造教室」、7番目の「中学生対象としての支援災害プロジェクト」については、ご提案の事業そのものということではないが、活かさせていただくというものである。そのほか、1番、2番については、非常に大きな問題等ではある。南区としてだけではなく、全市的にやっていかなければいけない部分もあり、そういった市の動向も踏まえ、区としても今後、検討していきたい。一緒に区民の皆さんと事業をしていきたいというものである。それから5番目については、平成28年度の区づくり事業では実施をしないが、今、活動している団体に働きかけを行うなど、そういった形で機能を醸成する中で、支援を強化していきたいというものである。8番目については、基本的にはほかの事業で実施済み、9番目の趣旨の部分についても、これまでの制度で対応しているということをご説明させていただいた。

ただ、この中で1番と4番については、対応のところの下線を引いている。部会の中でご説明した文言を若干、修正をかけたものである。1番の「ひきこもり」については、当初、今後、市としてというようなニュアンスでご説明させていただいていたが、現在、市では、相談業務をひきこもり相談支援センターへ事業委託するなど行っている部分もある中で、本人たちがあまり深入りを望まれない部分もあり、非常に取組みが難しい。そういったところを区としてどこまで事業化できるかということは、今後の検討が必要ということでお話しさせていただいたものである。その中で、市が行っているネットワークへの委託の部分について資料が欲しいという部会からの要望があり、本日、簡単ではあるがカラー版のひきこもり相談支援センターのしおりを配布させていただいた。ご参考までにご覧いただくとともに、もし地域でそういった事例等を見聞きする中で、ご紹介をいただければということで配布させていただいたので、ご活用いただければと思っている。

もう一つ下線を引いてある4番の高橋委員からのご提案であるアグリパークの関係である。高橋委員からは都市部の小中学生と農村部の小中学生の交流をというお話もあった。そういう

交流まではなかなかいっていないが、市としてもアグリパークを活用しての教育プログラム等を使って、小中学生にアグリパークを体験してもらうという事業を頻繁に開催させていただいているので、当初、区づくり事業ではやらないと提案をさせていただいたところであるが、高橋委員おっしゃる意味合いの中の底辺を広げていくという部分については、小中学生よりも小さい保育園・幼稚園の子どもたちにアグリパークを知ってもらうということで行ったらどうかというので、来年度の区づくり予算の中で、そういった部分の事業化をしていけたらと考えて、変更させていただいたものである。以上、皆さんからの委員提案結果については、九つ、そういう形でさせていただいたうえで、資料1-2のような形で来年度の区づくり予算をまとめてまいりたいというものである。資料1-2をご覧くださいと思います。

今回、再掲があるので○が12あるが、11事業ということで、今のところ、区づくり事業を組みたいというものを区ビジョンの目指す区の姿と、その後、大きな国の流れである地方創生を受け、私ども南区長の経営方針の中で、視点としてあげた地方創生、ニューフードバレー、国土強靱化、安心政令市という四つの視点ごとにマトリックス的にまとめたものである。色のついているところに多い○で書いてある11事業を私ども、来年度、区づくり予算の中でやってまいりたいと考えている。

黄色に部分の「ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち」という部分については、地方創生では、コミュニティ協議会提案事業「地方創生」ということで、婚活だとか、そういったようなテーマを定めさせていただく中で、コミュニティ協議会でいろいろ勉強しつつ、事業を展開していくための補助などをしていけたらと考えているような事業などである。園児アグリパーク体験事業については、先ほどのものということになる。そのほか、未来創造教室、障がい者農業体験の継続、災害に強いまちづくりの部分は継続が多い。あとは地域包括ケアシステム推進事業ということで、今まで継続だった事業を地域包括ということでまとめたような部分もある。

Ⅲの「農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち」ということについては、まちなか賑わいチャレンジ事業というようなものを新規で考えている。園児アグリパーク体験事業については再掲である。農商工連携がっちりプロジェクトについては継続2年目ということである。

Ⅳの「大風が舞い、獅子が跳ね、ルレクチュが実るまち」の部分については、いずれも継続となるが、来てきて笹川邸、大風合戦みらいプロジェクトというものを継続してまいりたいというものである。今ほどの資料の裏に事業概要等も載っている。今回、ここでお示しさせていただき、またこの後、11月の部会の中で、各部会の担当する事業の内容等を詳しく説明させていただき、皆様からご意見をちょうだいしたいと思っている。

再度、表に戻っていただき、大きな○については、私ども、今、区づくり予算でやっていきたいと考えている11事業である。その中で、四角囲みで白抜きになっている「新潟市『まち・ひと・しごと創生』総合戦略関連事業」というもので、三つほどあげている。これらについては、予算を区が直接持つものと、区がやるのだが、市役所が持っているお金を使うといったものがある。私どもとすると、ここであげた「まち・ひと・しごと創生」に絡む事業。地方創生だとか、ニューフードバレーに関する事業については、ぜひ市で持っているお金を上手に引出しながら、私どもで事業をやりたいということで、ここであげている果樹剪定枝のバイオマス利用実験、南区ビジネスプランコンテスト、苧麻栽培支援プロジェクトといったような複数を本庁と調整中である。予算がつくかどうか、採用になるかどうかといったところが、まだ決まっていない。その中で、本庁に採用されなかったものについては、できれば、区づくり予算の中で行っていきたいので、再度、皆様に提案して、ご意見をいただきながら行っていきたいと考えているところである。来月11月の部会については、○であげた11の事業について、ご意見をいただくことにさせていただき、また本庁と区の調整後、再度、区づくりとして増えるといったものについて、逐次、私どもから情報提供させていただき、ご意見をちょうだいするという流れで進めさせていただければと考えている。予算枠は2,300万円あるが、その中でどれくらいの規模でいくのかといったところがなかなか見えづらい部分で申し訳ないが、今年、そういう大きな流れの中で予算を組まなければいけないということで、若干前後する部分があるかもしれないが、そういう形でご意見を伺わせていただければと思っているので、

よろしく願います。

○議長（棚村会長） ただいまの説明について、質問のある方、挙手をお願いします。

○原（五）委員 事業内容でもいいたろうか。裏面の小さな字の2番の地域包括ケアシステム推進事業の中で、高齢者を支える地域づくりのところに、平成28年度、地域にネットワークがあり、福祉の現場で仕組みづくりの実績がある社会福祉士に業務委託とあるが、社会福祉士個人に委託されるのか。

○永井地域課長 この場では、簡単なところをご説明させていただくが、深いところは部会におりた中で議論していただければと思う。簡単なところは課長から。

○高橋健康福祉課長 こちらは、社会福祉士の事務所を開設している方がいらっしゃるの、そちらに委託して考えている。

○議長（棚村会長） 裏面のほうが特に細かくなっているので、なかなか今、読むということは難しいところがあるが、どなたかご質問のある方はいるか。

○小杉委員 欄外の終了予定事業について説明をお願いします。

○永井地域課長 本年度、15の事業をやっている。そのうち、今年度限りで区づくり事業を終わらせる予定のものについては、この五つの事業ということで考えているところである。区づくり事業は、基本的には3年経過で終了といったところがあるが、味方ロール、果樹産地活性化総合対策等について、3年以上、経過という中で、終了させていただくといったものもある。地域と学校ふれあいネットワークについては、補助金としてよく活用していただいている部分もあるが、コミュニティ協議会提案事業地方創生という形で組み替えをさせていただく中で、そういった意味合いも含めて、補助金を活用していただければということで、少し組み替えをさせていただくような事業というものである。3年を経過しない中での事業だが、一旦、そこでやめさせていただき、新たな組み替えでということで、話をさせていただければと思っている。

○議長（棚村会長） 小杉委員よろしいか。「地域と学校」について聞きたい。今後、どうすればいいのかということだが。

○永井地域課長 基本的には、ある程度、コミュニティ協議会の補助金、制度がいろいろ変わる中で、なかなか地域活動しづらい部分等もあると思われた中で、ある程度、テーマを一つ、学校との連携という形で絞って進めさせていただいたところである。今回、そこ専門だけということではなく、広くそれぞれの中で、若干いくつかのテーマをこちらで振らせていただく中で、新たな補助金として作っていったらどうか。ある程度、今までの中でやっていただいた事業等についても、平成27年度から運営費補助も若干、多くお渡しできるようになったという中で、そこで事業費としても活動していただける。そこを活用していただく中で、事業を展開していただくことでどうかということと考えさせていただいたところである。

○議長（棚村会長） 各コミュニティ協議会向けの運営補助ということで、今年度からつけてあるわけだが、今後は、そこから出していくようなことになるということのようだ。

ほか、皆様方ご意見あるか。

○市嶋委員 質問だが、いろいろある提案事業の継続5年目というものも三つほどあるが、結果などは、どこかこういう場で問題などを検証するということはあるのだろうか。どのように検証しているのか分からないので質問である。

○永井地域課長 その辺も含め、今後の事業の継続の部分も、事業名だけ出して、部会で考えてくれという話ではなく、そこも含めてお話しさせていただきたいと思っている。そのうえで、こういう資料でご審議いただいたということで、本会議に戻したいと考えている。

○小林（誠）委員 今ほど議長が最後に言われたことはどういうことなのだろうか。

○議長（棚村会長） 欄外の地域と学校ふれあいネットワークである。

○小林（誠）委員 1番のコミュニティ協議会提案事業「地域創生」ということで、平成28年度に各コミュニティ協議会から地域の活性化のものの事業計画を出してもらい、そこに10万円支給するということが分かるが、平成28年にこれをやって、平成29年度、平成30年度で事業を実施するということになる、1年単位のもののほかに年単位のものかということ、それが終わってどうするのかということで、よくある、補助金は3年出すから、あと自分

でやってねということと同じことになると思う。規模的にこれがどのくらいの規模になるのかということで、2から3が100万円ずつあれば300万円だし、200万円ずつであれば600万円ということになるが、金額によって皆さんが提案する事業が変わってくるかと思うが、そうすると2、300万円を皆さんで振り分けた中で、これが残ったから、これでやってくださいということになるのか、それとも今の段階で、平成28年度から平成29年度、平成30年度は、この部分についてはこれだけ取ってあるから、それでやってくれという話なのか、それによって変わってくると思う。

○永井地域課長 今のところ平成29年度、平成30年度については、大体、120万円くらいの総予算と考えている。平成28年度でどれくらいのご提案があるかだが、ご提案の中で、二つ、三つくらいで、それを分け合うような形でどうかと。今のところは組立をしているところであるが、そこもまたまだ本決まりではないということなので、皆さんからご意見をちょうだいしながら、そういったスキームをどう考えていくかといったところも、今後考えていく必要があるかと思っている。

○小林（誠）委員 平成28年度の各10万円支給ということで、各コミュニティ協議会が全部出てくれば、そこに全部10万円をやって、事業計画をしてもらうということでもよろしいだろうか。

○永井地域課長 そうである。事業の計画をしていただいたうえで、コンペ方式ではないが、競っていただいたうえで、来年度、どれを採用するかということをしていったらどうかと考えている。

○議長（棚村会長） そのほか、どなたかご意見のある方はいらっしゃるか。では、これは今後、各部会でまた細かなご提案があるということで、よろしいのか。では、各部会のほうで話を進めていただき、ご審議いただいて、それをまた本会議のほうに戻すということなので、よろしく願います。では、南区特色ある区づくり予算については、ここで終了とする。

3 報告・連絡事項

（1）議会報告会について

○議長（棚村会長） 続いて、次第3（1）議会報告会についてということである。こちらは私から説明させていただくが、皆様、お手元の「新潟市議会議会報告会」というチラシをご覧ください。先日、新潟市議会から、11月の自治協議会に合わせて議会報告会を開催したいという依頼があった。このチラシを見ていただくと、南区は最終水曜日の設定ということで11月25日（水）ということで予定されている。自治協議会とのグループワークということである。裏面には、南区のほうに出席していただける議員の皆様方の名簿が載っている。高橋三義議員ほか、こちらの皆様方にお出でいただき、議会報告会を行うこととなっている。チラシでは、11月25日とはなっているが、そちらに合わせた開催でいいかという確認と、時間は自治協議会終わりにさせていただきたいということで、自治協議会を30分ほど早めて、1時30分開会とさせていただき、その後、議会報告会という流れでどうかということである。

皆様方、特に異論がないようであれば、このままでよろしいだろうか。

（異議なし）

○議長（棚村会長） それでは、次回の11月の自治協議会は1時30分開会とし、終了後、議会報告会を開催するというのでよろしく願います。議会報告会については、これで終わりとする。

（2）部会報告

○議長（棚村会長） 続いて、次第3（2）部会報告について、部会の検討状況を各部長から報告していただく。はじめに、第1部会長の佐々木委員から報告をお願いする。

○佐々木委員 10月7日に開催された概要を報告したいと思う。会議内容として、1番の平成28年度特色ある区づくり予算について、二つ目に南区安心みまもり隊について。協議結果として、1番目の平成28年度特色ある区づくり事業、特色ある区づくり事業のうち、第1部会が所管する分野の二つの事業を協議した。まず1番目に、空き家対策などの庭木せん定、草

刈りなどの支援事業。二つ目に、中高生対象における支援災害プロジェクトを協議した。いろいろ協議して結果や意見が出た中で、今後は、地域の中でも所有者不明とならないよう、連絡を密にしないと空き家は区民も取り組むべき問題であるとなった。次に、中高生対象の支援プロジェクトだが、担当課で検討した結果は、他の事業の中で実施させていただきたいということで、区では、平成24年度から災害に強いまちづくり事業を区づくり予算の中で取り組んでいるという報告があり、学校にも子どもたちに地域防災訓練の参加を働きかけてもらえるよう協議していきたいということを総務課から説明があった。討議としては、学校事業は2月末までに依頼していくべきではないかななどの意見が出て終了した。

次に南区安心みまもり隊について、意見としてコミュニティ協議会、自治会、学校単位でも取り組んでいるかもしれないが、自治協議会委員として、南区自治会全体を見回した中で、よりよい南区づくりに貢献するという趣旨で取り組めば、自治協議会もがんばっているのだなという姿勢。自治協議会の姿勢をアピールできるという意見もあったし、みまもり隊の範囲は、自治協議会委員30人全員でスタートすべきで、地域で性質、団体など、均一性があるので、本会議で呼びかけていったほうが良いということになった。そして、最初は活動範囲なりを決めて限定しないで、全般不特定多数を見守るやり方が良いというようになって終了した。

○議長（棚村会長） 続いて、第2部会長、西村委員からお願いします。

○西村委員 第2部会は10月9日に部会を開催した。会議内容としては、特色ある区づくり予算についてと、家族ふれ愛月間についてである。特色ある区づくり予算については、担当課から説明を受けて、とりあえずさまざまな資料を出してくれているような話をされたのだと思った。目前に迫っている家族ふれ愛月間の上映会については、現在、ほぼ9割程度のチケットがさばけ、当日を待つのみとなっている。啓発のリーフレットについても、先日、ほぼできあがった状態で来ている。当日、また配付できるのだと思う。白根高校生の挿絵等が入って、うちの部会は女性が多いので、そういうところのセンスがよく出ていると思うので、皆さんもいろいろなところで配っていただきたいと思う。また、11月8日、家族ふれ愛月間の上映会には、皆さん、お越しくださるよう、よろしく願います。

○議長（棚村会長） 続いて、第3部会長の市嶋委員から報告をお願いします。

○市嶋委員 第3部会は、10月8日に部会を行った。会議の内容としては、1番から3番で、①の平成28年度特色ある区づくり予算については、担当課から説明を受け、いろいろ協議を行った。すでに事業として取り組んでいるものがあつたり、来年度、少しふさわしくないのではないかという話からいろいろ出たが、決まったものについては、なるべくいろいろとアイデアを出しながらやっていくという話になったが、特に農商工連携で農業ばかりではない方もいらっしゃるので、そういった各方面の方が何か力を発揮できるような取組みをぜひしたいという意見があつた。②の南区たからいちの振り返りを行い、イベントも一応は盛況で終わらせていただくことができたが、反省も多々あり、また来年以降、どのようにつなげていって、にぎわいを作っていくのかというところが、課題として出たので、そのあたり、引き続き、来年に向けて協議していきたいと思っている。3番の綱引き合戦については、先月の全体の会議でも報告させていただいたが、2月6日（土）にコミュニティ協議会にお声がけさせていただき、綱引き合戦を何とか盛り上げていきたいと思っている。土曜日開催ということで、いろいろご意見もいただいたが、日程的にも打診している関係もあり、今回については2月6日（土）ということで、決定した。なるべく、ご協力いただきやすいように、声がけの仕方やルール、人数についても、今、協議しているところなので、なるべく皆さんが参加していただきやすいような形で、さらに交流がしっかりと深まるような内容にしていきたいと思うので、また詳細が決まったら、ご協力をお願いしたいと思う。

○議長（棚村会長） 広報部会長の青木委員から報告をお願いします。

○青木委員 広報部会は第6回を10月20日に開催した。12月発行予定の自治協議会だより第4号の掲載内容について協議を行った。今回、4号の地域情報発信のインタビューは、新飯田のいんどり農園ということで、新飯田コミュニティ協議会の小杉由美子委員がインタビューをしてくださった。どうぞ内容について、お楽しみになさっていただきたい。あと皆様、いろいろな区の情報誌、たよりが、いろいろ事務局から送付されて、お目にされていると思うの

で、それをご覧になって、南区でもこういう内容というようなご希望があれば、ぜひご意見をいただきたいと思う。白根高校の部員の皆様から書いていただいた絵も、たよりに載るので、それについても楽しみにどうぞ。

○議長（棚村会長） ただいま、各部会から報告をいただいたが、ご質問のある方、いらっしゃったら願います。なければ、部会報告はここまでとさせていただきます。

（3）その他

○議長（棚村会長） 続いて、次第3（3）その他について、事務局から何かあるか。

○事務局（永井地域課長） 平成27年度地域ミーティングの開催についてお配りしている。次回の自治協議会前になるが、11月21日（土）に午前10時半からの1時間、それから午後1時からの1時間ということで、地域ミーティングという名称で、地域の皆様と市長が話し合っ、皆様の声を市政に反映させる地域ミーティングというものを開催する予定である。今回は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をテーマに、市の主要な施策についてご紹介して、意見交換をしたいというものである。次第は下記のとおりだが、はぐっていただき、地域ミーティング in 南区については、おいでいただく皆さん、それからある程度、地域を中学校単位ということで、こちらのほうで割り振らせていただいたところである。午前中については、白南、白井、味方、月潟の各中学校区、午後については白根一中から北中というところになる。区自治協議会からは、会長、副会長からご出席をいただきたいということで考えている。そのほかでは、各コミュニティ協議会、自治連合会、PTA役員の方々、地域教育コーディネーターの方々、民生委員の方々にご出席をいただきたいということで、各団体等にはご案内を差し上げているところである。皆様のほうで、もし都合がついておいでいただくということになると、一般では傍聴が可能ということである。なかなかお手を挙げてご質問ということがかなわないが、どういう話し合いがなされるかといったところをもしお時間が空いていれば傍聴ということでお聞きいただければと思っているので、ご案内をさせていただいたところである。

○議長（棚村会長） では、地域ミーティング in 南区について、ご質問のある方はいらっしゃるだろうか。ないようなので、地域ミーティング in 南区については、ここまでとする。

ほかに委員の皆様から何かご提案、ご質問などあれば願います。特にないか。その他はここまでとする。

4 次回全体会の日程について

○議長（棚村会長） 次第4次回の全体会の日程について、先ほどもお話ししたが、11月25日（水）午後1時30分から南区役所講堂ということでよろしいか。次回もよろしく願います。

5 閉会

○議長（棚村会長） 以上で、第7回南区自治協議会を閉会する。

（午後2時50分）